



# 朱三学校だより

特別号  
学校評価特集



令和6年2月13日  
京都市立朱雀第三小学校  
校長 畠澤 啓太郎

Tel 312-3203  
<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/suzakudai3-s/>

学校教育目標

自ら考え行動し しなやかな心でなかまと共に力を高め合う子の育成

## 令和5年度後期学校評価結果をお知らせします

保護者の皆様のご協力を得て、後期学校評価アンケートを実施いたしました。保護者の皆様には、お忙しい中ご理解・ご協力いただきまして、本当にありがとうございました。なお、評価項目は、「確かな学力(学習面)」「豊かな心」「健やかな体(健康・運動・安全面)」「その他(教育相談・家庭での様子・学校や家庭の様子)」の4観点に基づき、各項目は「実現度(よくできている・だいたいできている・あまりできていない・できていない・わからない)」の5段階でお答えいただきました。

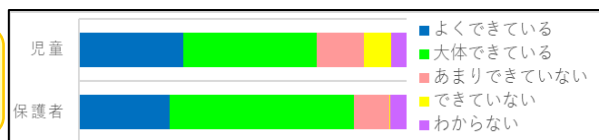
集計結果から、実現度の状況を分析し、成果や課題をご報告いたします。



### <回答数について>

・213名の方から回答をいただきました。実施期間の児童数が320名(家庭数247)でしたので、**約66%**の方のご意見をいただいたことになります。

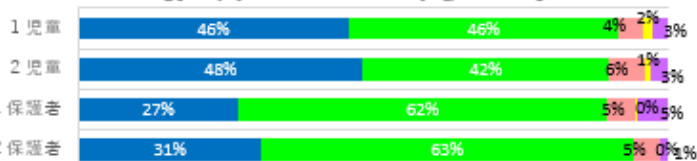
### 確かな学力(学習面)



よくできている・大体できている ⇒ プラス評価  
あまりできていない・できていない ⇒ マイナス評価

※上記のように捉えて考察・分析しています。  
※小数点以下を四捨五入している数値です。そのため、集計上、全てを合算しても100パーセントにならない場合があります。

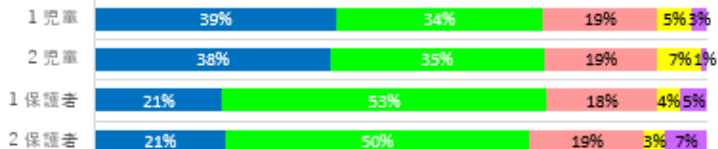
#### 1. 授業中、めあてに向かって学習している。



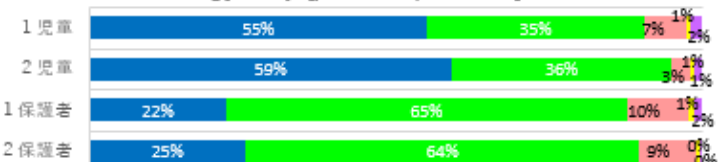
#### 2. 授業中、先生や友だちの話をしっかり聞いている。



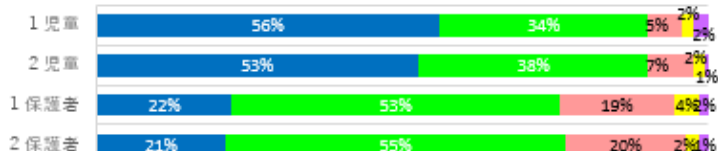
#### 3. 授業中、自分の考えや意見を表現(発表)し、対話することができている。



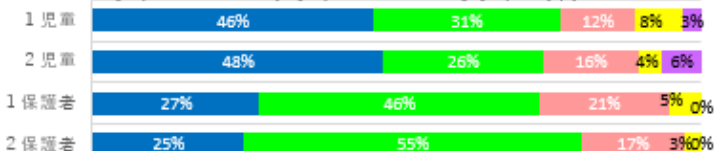
#### 4. 授業の学習内容を理解している。



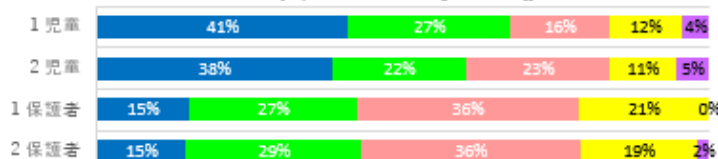
#### 5. わからないことや困った学習内容があっても、あきらめずに取り組んでいる。



#### 6. 家で、宿題や自主学習などを行っている。 (低学年30分以上・中学年45分以上・高学年1時間以上)



#### 7. 1日30分以上、本を読んでいる。(朝読書も含む)



1児童 ⇒ 前期児童結果  
2児童 ⇒ 後期児童結果  
1保護者 ⇒ 前期保護者結果  
2保護者 ⇒ 後期保護者結果  
を表しています。

次ページに続きます→



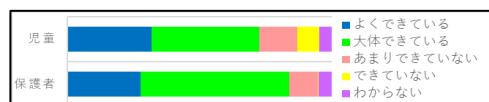
### 学習内容の理解が増加！さらに…、全ての児童が「わかった！」を目指すこと

設問4「授業の学習内容を理解している。」は、児童が約95%（前期90%）、保護者が約89%（前期87%）、設問5「わからないことや困った学習内容があってもあきらめずに取り組んでいる」は、児童が76%（前期75%）、保護者が91%（前期90%）と児童・保護者共にプラス評価が上がりました。設問1「授業中、めあてに向かって学習している。」は、

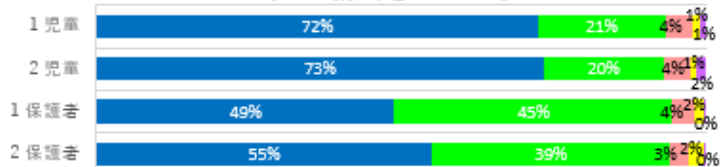
よくできている児童が増加しているもののプラス評価は下がっていました。学校では、主体的・対話的で深い学びを重視した授業の実践に向けて取組を進めております。そのために、今後も学習課題（めあて・目標）に応じた「まとめ」「振り返り」の徹底を通じた思考力・判断力・表現力の育成と学びに向かう力の育成に向けて取り組んでいきます。

設問6「1日30分以上、本を読んでいる。（朝読書も含みます。）」は保護者が44%（前期42%）とプラス評価が上がりましたが、児童は60%（前期68%）とプラス評価が下がるという結果が見られました。この項目が今回のアンケートで児童・保護者ともにプラス評価で一番低い割合でした。12月の学校便りでお伝えしておりましたが、今年度、本校の読書に関わる取組が「京都市子どもの読書活動優秀実践団体表彰 教育長賞」を受賞しました。ご家庭でも一緒に本を読んだり、読み聞かせをしたり、本に親しめるような働きかけをしていただけるとありがたいです。

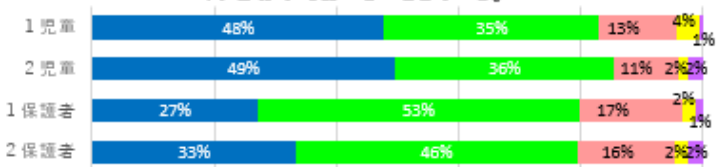
## 豊かな心



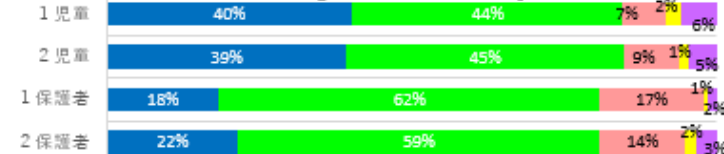
8. 学校で楽しく過ごしている。



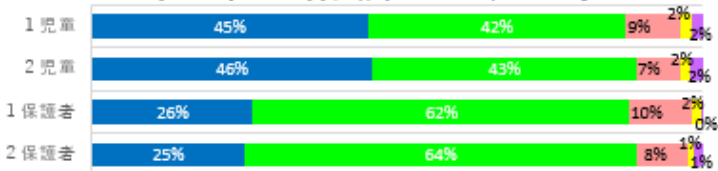
9. 自分からあいさつをしている。



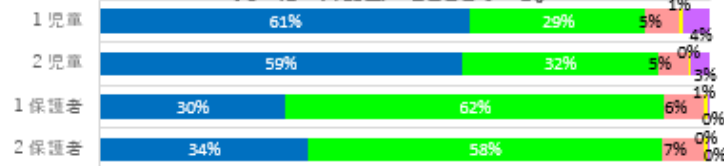
10. そのときにふさわしいか考えて、正しい言葉づかいをしている。



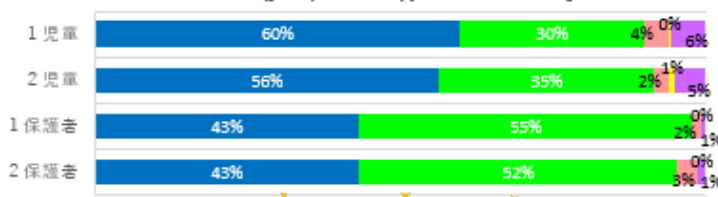
11. 学校や家のきまり、約束、マナーを守っている。



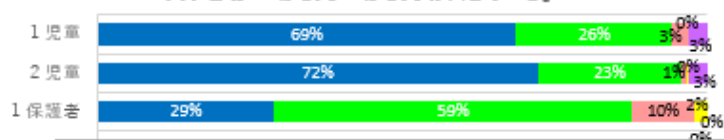
12. 当番活動（給食や掃除、委員会）や家での手伝いなど人のために役立つことをしている。



13. 友だちを傷つけることなく、大切にしている。



14. 自分の物も人の物も大切にしている。



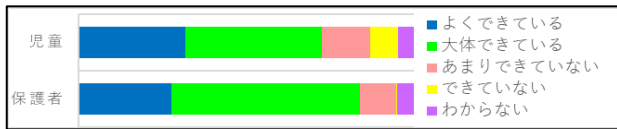
## 『気持ちのよいあいさつ！』『自ら考え行動し、しなやかな心で力を高め合う子』

設問8「学校で楽しく過ごしている」、設問12「当番活動など、人のために役立つことをしている」、設問13「友だちを傷つけることなく、大切にしている。」は、前期と同様で児童・保護者共にプラス評価が90%以上の割合でした。特に、「学校で楽しく過ごしている。」と、プラス評価で回答した児童の割合が増えたことは嬉しい結果でした。今後も、マイナス評価の児童が、「学校に来ることが楽しい。」と思えるように、今後も努力を続けます。

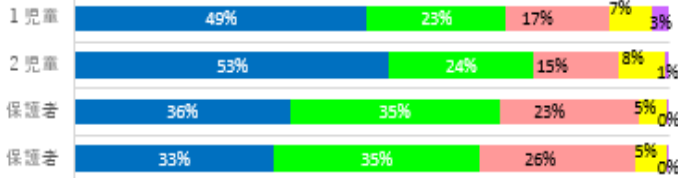
設問9「自分からあいさつしている。」は、児童が85%（前期83%）、保護者が79%（前期80%）で児童のプラス評価が少し上がりました。今年度「朱三の子ども」に「気持ちのよいあいさつ！名札を付けて背筋ぴん！」を示し、教職員で一年間取り組んできました。4月の児童の姿を振り返ると、あいさつをすると児童から返事が返ってきたり、自分からあいさつをしたり、学校に来られたお客さんにあいさつをしたりしている児童も増えてきました。

また、計画委員の児童があいさつのできる朱雀第三小学校になるように課題と改善点を挙げて取組を進めています。1学期には、児童が登校するときに「朝のあいさつ運動」をしたり、2学期には毎週月曜日を「あいさつの日」とし、自分たちで作成した挨拶に関わる動画を全校生徒にみせたりしています。3学期も取組を考え、進めているところです。ただ、「自分から」というところについてはすべての児童ができてはいえず、まだまだ課題があるといえます。しかし、本校の学校教育目標にある「自ら考え行動し、しなやかな心で力を高め合う子」の姿が計画委員、高学年の姿として表れていることはうれしく感じています。今後も朱雀第三小学校に気持ちのよいあいさつの輪が広がるよう取り組んでいきたいと考えています。

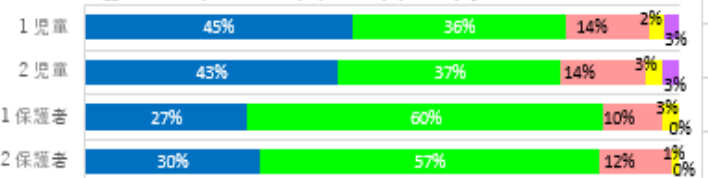
## 健やかな体（健康・運動・安全面）



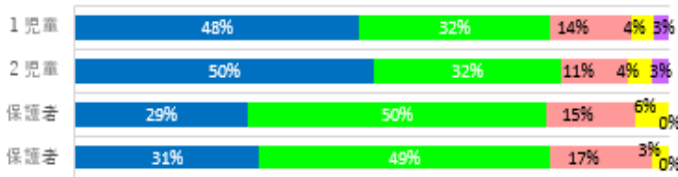
15. 自分からすすんで運動をしている。（休み時間・放課後・休日）



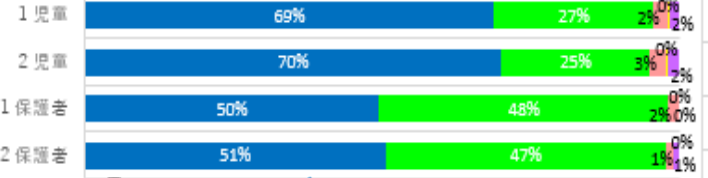
16. 生活習慣に気をつけて生活をしている。（早寝・早起き、朝ごはん、手洗い、うがい、歯磨きなど）



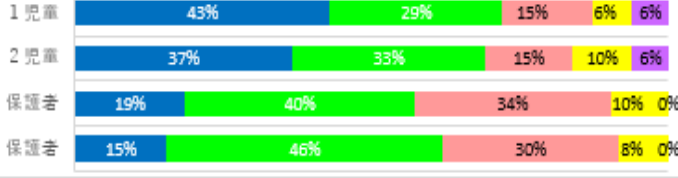
17. 好き嫌いをせずにきちんと食べている。



18. 登下校の時や、放課後に道を歩くときは、交通ルールを守っている。



19. 動画やテレビをみたり、ゲームなどをしたりする時間を決めて、きちんと守っている。



### 「体を動かすことの楽しさ」「決まりを守る2つの結果をみると」

設問15「自分からすすんで運動をしている。（休み時間・放課後・休日）」は、児童が77%（前期72%）とプラス評価が上がりましたが、保護者は68%（前期71%）と、プラス評価が下がるという結果が見られました。前期にもお伝えしていましたが、社会的に「児童生徒の体力低下」が心配されており、本校では今年度より研究教科を体育科とし、よりよい授業の実践に向けて研究を進めています。さらに、京都市教育委員会から「ジャンプアップ研究推進事業」研究推進校の指定（2年間）を受け、休み時間や放課後の時間などを活用した児童の体力向上・運動能力向上に向けた取組を進めています。例えば、竹馬や一輪車、スキップジャンプ、二人三脚ベルト、また子どもたちの「投げる力」を高めるために、フォームロケット・スカッドボーイなどいろいろな遊具を購入しました。子どもたちはこれらの遊具を使って休み時間に楽しく遊んでいます。また、月2回程度ロング昼休みを設定し、クラスでみんな遊びをしています。また京都市教育委員会が主催する「スポーツチャレンジ大会」にクラスや自分たちで作ったチームで参加しています。休み時間やロング昼休みの時間にボール送りや円陣バレーなど毎回の競技で学校を超えて京都市内のすべての参加チームと競い合っています。運動場で体を動かす機会を増やしました。また、1月23日からは、中間マラソン（※週に約3回程度）を実施し、5分間自分のペースでランニングする機会もつくっています。様々な取組を通して体を動かす機会を増やしています。今後も体育科の学習をはじめ様々な機会を通して、子どもたちが体を動かすことの楽しさを感じられるよう、取組を進めていきます。各ご家庭でも、ぜひ体を動かすことの楽しさを子どもたちとともに味わっていただけたらと思います。

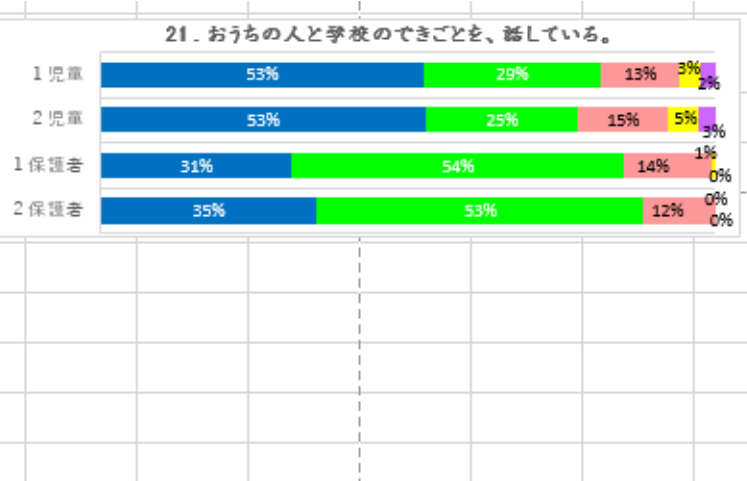
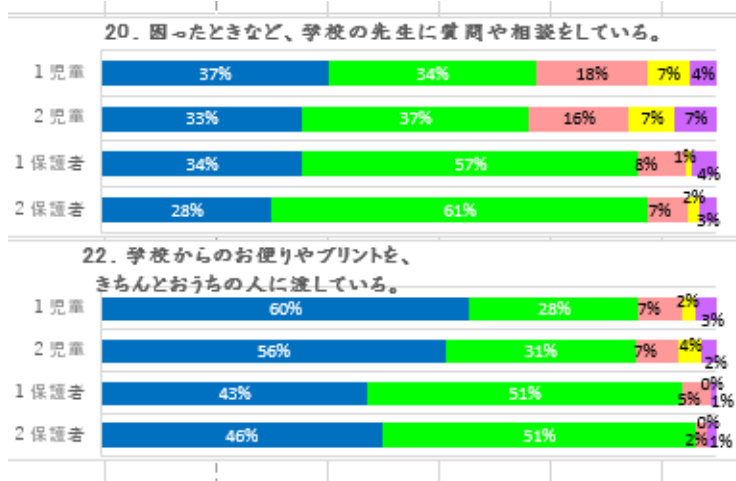
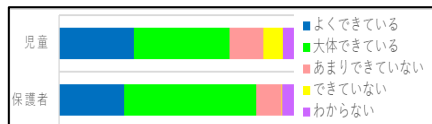
設問11「学校や家のきまり、約束、マナーを守っている」は児童、保護者ともに89%とプラス評価は高かったのですが、同じ決まりでも設問19「動画やテレビをみたり、ゲームなどをしたりする時間を決めて、きちんと守っている。」は、プラス評価が保護者61%（前期59%）と少し上がりましたが、児童は70%（前期72%）と前期よりも下がり、設問11と比べるとプラス評価が低く、本校の課題の一つと考えております。学校では、今後も、情報モラルの指導や、動画・テレビ・ゲームについて話をしていきますので、ご家庭でも共に取組を進めていただきますようお願いいたします。以下にポイントを紹介します。参考にしてください。

【ルールの例】「家庭で話そう！～スマホ・ケータイ・タブレット利用のルールとマナーについて～」より

1. 1日のトータル使用時間は（ ）時間（ ）分以内とし、時間を大切にする。
2. 夜（ ）時以降はスマホ・ケータイ・タブレットの使用をやめ、（ ）に置き、自室などで使用しない。
3. 食事中は使用しない。食卓の上にも出さない。（外食時も同じ）
4. 写真・氏名・住所・電話番号など個人情報、他人はもとより自分のものでも絶対にインターネット上に公開しない
5. SNSなどで他人を傷つける行為は絶対にしない。
6. 有料アプリや課金アイテムなどの導入の際には、事前に保護者の承諾を得る
7. トラブルや不安なことがあれば、すぐに家族・学校・大人に相談する。



## その他（教育相談・家庭での様子・学校や家庭の様子）



### お家で学校のことを話す工夫を・・・

設問20「子どもは家で学校のことを話している。」は、児童が78%（前期82%）、保護者が88%（前期85%）という割合でした。児童はプラス評価が減少している一方で保護者はプラス評価が増加していました。

「今日、学校でどんなことがあったの？」と聞いたとき、児童や学年によって一日の学校での様子を詳しく話す児童もいれば、一日全てのことが話すのが大変で、どのことを話せばよいかわからないため、忘れたとか普通とか一言で終わっていきたりする児童がいるのではないのでしょうか。また、設問19の結果から考えると動画やテレビ、ゲーム、スマートフォンやタブレットを見る時間が増えていたり、児童が話すタイミングと保護者の方が話を聞くタイミングが合わなかったりすることがあるのではないのでしょうか。会話の時間を増やす、児童から話を聞きたいときには、楽しい話題から始めて学校の話をする、児童が話しはじめたら途中で話をしないで話を最後まで聞いたりして会話を増やす、時には自分から話すまで待つ等、試みるのはいかがでしょうか。

### 自由記述のご意見

今回の学校評価アンケートでいただいたご意見の一部を紹介させていただきます。いただいた全てのご意見は、教職員で共有し、今後に生かしていけるようにします。今後も何かご不明点がありましたら、いつでも学校までご連絡ください。

・子どもたちの学校生活について…

→児童が楽しく学校に通うことができている、児童を温かく見守っていただいているという肯定的なご意見をいただきうれしく感じております。今後も児童が朱雀第三小学校で学校生活を楽しく過ごすことができるよう全教職員で取り組んでいきます。また児童のことで相談したいことがありましたらいつでも学校にご連絡いただき、保護者の皆様と共に考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。保護者の方が学校に来ていただく学校行事（授業参観、運動会）については、できるだけ多くの方に来ていただけるよう、曜日については検討中です。これからも児童が楽しみにしている行事や児童が活躍できる機会をつくれるように工夫していきます。児童の成長は学校の力だけではできません。「児童を地域全体で育てていく」ために学校・保護者・地域・学校運営協議会・PTA 活動との連携・協働を図っていきたいと考えています。

・学校評価アンケートの形式について…

→以前より、記名をお願いしてご意見を伺っています。記名していただくことで、詳しくお聞かせいただきたいご意見については、直接お話が伺えんと考えます。今後も忌憚のないご意見をお願いいたします。

・ホームページ（HP）掲載について…

→学校では子どもたちの学習や休み時間の様子、学校行事や本校の取組、ビオトープの様子などをホームページに掲載しています。HPの掲載について楽しみにされているというご意見をいただいております。1月末現在で800件以上の記事を掲載しております。今後も子ども達や学校の様子を掲載していきますのでご覧いただけると幸いです。またホームページ以外でも学校便りや各クラスのお便りでもクラスや学校の様子を配信し、お知らせしておりますのでそちらも合わせてご覧ください。

・大谷選手の具グローブについて…

→大谷選手より寄贈されたグローブの使い方についてご検討くださいというご意見をいただきました。大谷選手から寄贈されたグローブは1月下旬に本校に届きました。届いたグローブは最初に各教室で回しています。今後は子どもたちが放課後児童が使って遊べるように準備、計画中です。